

安全防災担当から地震避難訓練について

4月23日に地震避難訓練を行いました。

避難開始の合図から集合整列完了まで2分37秒。短時間で避難することができました。訓練後の振り返りシートの結果をまとめましたので報告しておきます。

皆さんの日ごろの防災意識を高めるきっかけの一つにしてもらえたらと思います。

<チェックアンケート結果>

	よくできた	できた	できなかった
・頭部を保護することができたか？	97%	3%	0%
・3つの安全姿勢をとることができたか？	89%	11%	0%
・机の脚を持ったか？	56%	30%	14%
・しゃべらずに避難できたか？	82%	18%	0%
・すみやかに整列・点呼ができたか？	88%	12%	0%

<感想から>

- ・本当に地震が来た時に3つの安全姿勢をとって自分の体を守るように日ごろから考えておきたいです。
- ・地震訓練はいつも学校で行われていますが、必ずしも学校で起きるとは限らないので、「もし、今起きたら」と考えることが大事だと、改めて気付きました。
- ・もし本番だったら、放送なんて鳴らないかもしれない。だから常に頭の片隅に入れておいて、どんな状況でも冷静な判断が出来るようにしたいです。
- ・地震が突然起こっても対応できるように、日々、意識して生活したいと思います。
- ・地震はいつ起きるか分からないので、自分でできる対策はしっかりしていこうと思いました。
- ・地震が起きた時は、今日のようにしっかりと、正しい行動ができるようにしたいと思います。
- ・地震はいつ起こるか分からないので、いつも頭に入れておいて、起きた時パニックにならないようにしたいです。
- ・地震だけでなく、二次災害にも気を付けなければならないと知りました。
- ・将来、南海トラフ巨大地震が起こると言われています。今やれることを徹底してやって次の地震に備えたいと思います。
- ・校長先生のお話を聞いて、人々の協力で救える命があるんだなと思いました。
- ・地震が起きたら落ち着いて安全行動ができるように、危機感を持ちながら生活することが大切だと思いました。
- ・地震はいつ起こるか分からないので、準備をしたり確認をしておくことが大事だと思いました。そして地震が起きたら今日のようにしっかりと正しく行動したいです。
- ・地震の怖さはまだ知らないが、訓練をしっかり行うことで、地震が来た時にすばやく行動ができると思いました。

→ 裏面につづく

- ・明日地震が起きるかも知れないので、お家においても学校においても冷静に対応しようと思いました。
- ・今日の訓練で、自己安全管理をしっかり意識していかないといけないと思いました。
- ・いつ地震が起きるか分からないので、日頃から訓練をしたり、準備をしたら助かるかも知れないので、家に帰ったら準備をしたいと思いました。

<丹波篠山市での地震に対する備え>

御所谷断層帯

加東市から丹波篠山市にかけて国道 372 号線沿いに分布する活断層帯。丹波篠山市の防災計画では、震度 6 弱以上を発生させる可能性があるとされています。その他丹波篠山市に隣接する活断層帯として、京都府福知山市から京都府京丹波町にかけて分布する三峠断層帯や、京都府京丹波町から大阪府三島郡島本町にかけて分布する京都西山断層帯についても大規模災害をもたらす可能性があると書かれています。

南海トラフ巨大地震

丹波篠山市内では震度 4 から 5 強の揺れをもたらすと考えられていますが、東海から近畿・四国沿岸部を中心に甚大な被害をもたらすと予想されます。今後 30 年以内に発生する可能性は 80%程度とみられていて、例えば、わたしたちが大阪や神戸などに遊びや買い物で出かけている最中に起きないと断言する事は決してできません。

もし地震に遭遇したら、まず安全行動をとって自分の身を守り、学校では自分と友達の命を第一に考え、家庭では自分と家族の命を守る行動をとれるように、「自己安全管理」の意識を忘れずに生活して下さい。